

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名 コンドーテック株式会社  
 コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 近藤 勝彦  
 (氏名) 安藤 朋也  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6582-8441  
 平成25年11月26日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,138	12.5	1,466	27.3	1,511	26.6	899	28.7
25年3月期第2四半期	19,674	5.7	1,151	27.7	1,194	27.0	699	36.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 865百万円 (34.8%) 25年3月期第2四半期 642百万円 (47.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	32.57	32.55
25年3月期第2四半期	26.97	—

(注) 平成25年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,571	17,652	57.7
25年3月期	31,192	16,990	54.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,649百万円 25年3月期 16,990百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.50	—	7.50	14.00
26年3月期	—	6.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,372	5.4	2,884	8.2	2,972	7.9	1,678	4.5	60.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	28,757,000 株	25年3月期	28,757,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,134,941 株	25年3月期	1,134,941 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	27,622,059 株	25年3月期2Q	25,922,237 株

(注)平成26年3月期第2四半期の期末自己株式数には、三菱UFJ信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する当社株式125,000株を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が打ち出した経済・金融政策を背景に、公共投資の増加、高水準の新設住宅着工戸数の維持など、企業業績の回復や企業の業況判断は改善の動きが見られる一方で、個人消費の伸びに一服感が出てきたこと、海外景気の下振れリスクが存在することなど不安定な状態が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、震災の復興を中心に公共投資は堅調に推移し、新設住宅着工戸数は低水準の金利やその先高感、消費増税前の駆け込み需要などにより着工を押し上げております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし、在庫切れによる販売機会損失の防止などの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,138百万円(前年同期比12.5%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率は前年同期と同率でありましたが、堅調な建設需要を背景に売上は増加し、営業利益は1,466百万円(同27.3%増)、経常利益は1,511百万円(同26.6%増)、四半期純利益は899百万円(同28.7%増)と増益になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <産業資材>

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している当セグメントは、震災復興向け資材が堅調に推移するとともに、太陽光発電設備向けのクランプやパイプの受注の増加、消費増税前の住宅着工の増加を背景にした木造住宅用金物の受注もあり、当セグメントの売上高は13,075百万円(前年同期比7.4%増)、セグメント利益は930百万円(同7.8%増)となりました。

#### <鉄構資材>

鉄骨資材の指標の1つとなる推定鉄骨需要量は引き続き回復基調で推移しており、民間を主体とした物流倉庫や店舗などの建築物件の増加により、当セグメントの売上高は5,064百万円(前年同期比19.3%増)となりました。なお、工場製品の受注増と原材料価格の低下により、原価が低減したことで売上総利益率は改善し、セグメント利益は432百万円(同72.2%増)と拡大しました。

#### <電設資材>

商業施設や特別養護施設などの建築物件の増加や、省エネ・創エネ意識の高まりによるLED照明や太陽光発電設備、それに付随する電線等の需要を積極的に取り込んだ結果、当セグメントの売上高は3,998百万円(前年同期比23.0%増)となりました。また、競合他社との受注競争の激化により、売上総利益率は悪化したものの、売上高の増加で補い、セグメント利益は129百万円(同155.5%増)と大幅に拡大しました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(31,192百万円)と比較して621百万円減少し、30,571百万円となりました。これは、たな卸資産の増加があったものの、売上債権及び信託受益権の減少があったこと等を主因として、流動資産が390百万円減少し、さらに、有形固定資産及び無形固定資産に係る減価償却及び繰延税金資産の減少等を主因として、固定資産が231百万円減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末(14,201百万円)と比較して1,282百万円減少し、12,918百万円となりました。これは、仕入債務及び未払法人税等の減少等を主因として、流動負債が990百万円減少し、さらに、役員退職慰労引当金の減少等を主因として、固定負債が292百万円減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末(16,990百万円)と比較して661百万円増加し、17,652百万円となりました。これは、四半期純利益899百万円による増加があったものの、剰余金の配当207百万円の支払いによる減少、投資有価証券等の時価評価に起因したその他の包括利益累計額(借方)33百万円の増加があったこと等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(54.5%)比、3.2ポイント改善し57.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末（4,798百万円）と比較して127百万円減少し、4,671百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、前年同期に獲得した資金（822百万円）と比較して724百万円減少し、97百万円の資金を獲得しました。

これは、役員退職慰労引当金の減少252百万円、たな卸資産の増加378百万円、仕入債務の減少608百万円及び法人税等の支払い648百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1,508百万円、減価償却費の計上196百万円及び売上債権の減少387百万円等により資金を獲得したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、32百万円の資金を獲得しました（前年同期に使用した資金242百万円）。

これは、信託受益権の取得1,205百万円並びに有形固定資産及び無形固定資産の取得241百万円等により資金を使用した一方で、信託受益権の償還1,465百万円等により資金を獲得したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、前年同期に使用した資金（368百万円）と比較して111百万円減少し、257百万円の資金を使用しました。

これは、短期借入金の純減少額50百万円及び配当金の支払い206百万円等に資金を使用したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想におきましては、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（株式付与E S O P信託）

当社は、平成25年8月13日開催の取締役会において、当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」導入を決議しており、平成25年9月10日付で自己株式125,000株について、「三菱UFJ信託銀行株式会社（株式付与E S O P信託口）」に対して、第三者割当による自己株式の処分を実施しております。

当該信託については、経済的実態を重視する観点から、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っております。したがって、信託口が所有する当社株式や信託口の資産及び負債並びに収益及び費用については、四半期連結財務諸表に含めております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日現在、信託口が所有する当社株式（自己株式）数は125,000株であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,798,771	4,671,419
受取手形及び売掛金	11,841,405	11,426,354
商品及び製品	2,296,038	2,672,482
仕掛品	136,009	121,248
原材料及び貯蔵品	314,535	331,347
その他	1,982,810	1,751,069
貸倒引当金	△59,160	△53,673
流動資産合計	21,310,409	20,920,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,171,295	2,111,869
土地	5,752,013	5,752,013
その他（純額）	712,739	732,717
有形固定資産合計	8,636,048	8,596,600
無形固定資産		
のれん	122,466	91,850
その他	142,512	113,669
無形固定資産合計	264,979	205,519
投資その他の資産		
その他	1,062,320	940,275
貸倒引当金	△80,970	△91,076
投資その他の資産合計	981,350	849,199
固定資産合計	9,882,378	9,651,319
資産合計	31,192,788	30,571,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,361,178	4,625,680
短期借入金	800,000	750,000
未払金	4,470,985	4,485,724
未払法人税等	667,194	510,484
賞与引当金	476,941	448,305
販売促進引当金	—	22,300
その他	685,851	629,295
流動負債合計	12,462,150	11,471,790
固定負債		
退職給付引当金	1,177,931	1,138,499
役員退職慰労引当金	283,420	30,446
その他	278,399	278,203
固定負債合計	1,739,751	1,447,149
負債合計	14,201,901	12,918,940
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,434,555	2,434,555
利益剰余金	13,593,864	14,286,227
自己株式	△498,724	△498,724
株主資本合計	18,196,179	18,888,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317,956	304,961
繰延ヘッジ損益	16,319	△4,569
土地再評価差額金	△1,539,569	△1,539,569
その他の包括利益累計額合計	△1,205,293	△1,239,177
新株予約権	—	3,260
純資産合計	16,990,886	17,652,626
負債純資産合計	31,192,788	30,571,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	19,674,668	22,138,179
売上原価	15,351,457	17,266,536
売上総利益	4,323,210	4,871,642
販売費及び一般管理費	3,171,722	3,405,579
営業利益	1,151,488	1,466,062
営業外収益		
受取利息	6,248	4,532
受取配当金	1,051	1,132
仕入割引	58,038	65,673
雑収入	12,369	10,616
営業外収益合計	77,707	81,954
営業外費用		
売上割引	25,740	29,106
支払利息	1,028	1,066
雑損失	7,941	6,125
営業外費用合計	34,710	36,298
経常利益	1,194,485	1,511,718
特別利益		
固定資産売却益	159	416
特別利益合計	159	416
特別損失		
固定資産売却損	238	310
固定資産除却損	6,483	3,591
特別損失合計	6,721	3,902
税金等調整前四半期純利益	1,187,923	1,508,232
法人税、住民税及び事業税	424,677	494,223
法人税等調整額	64,176	114,480
法人税等合計	488,854	608,703
少数株主損益調整前四半期純利益	699,069	899,529
四半期純利益	699,069	899,529

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	699,069	899,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,002	△12,995
繰延ヘッジ損益	△11,909	△20,889
その他の包括利益合計	△56,911	△33,884
四半期包括利益	642,157	865,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,157	865,644
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,187,923	1,508,232
減価償却費	187,594	196,590
のれん償却額	30,616	30,616
株式報酬費用	—	3,260
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32,906	4,618
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64,206	△28,636
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△31,448	△39,432
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,342	△252,973
受取利息及び受取配当金	△7,299	△5,664
支払利息	1,028	1,066
固定資産売却損益(△は益)	78	△106
固定資産除却損	6,483	3,591
売上債権の増減額(△は増加)	211,576	387,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	126,867	△378,495
仕入債務の増減額(△は減少)	△194,715	△608,457
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,353	△24,927
未払費用の増減額(△は減少)	△1,919	△41,918
その他	△6,444	△13,693
小計	1,376,219	741,470
利息及び配当金の受取額	7,300	5,668
利息の支払額	△1,021	△1,089
法人税等の支払額	△559,933	△648,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	822,564	97,985
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△280,924	△234,981
無形固定資産の取得による支出	△10,830	△6,440
信託受益権の取得による支出	△1,728,445	△1,205,337
信託受益権の償還による収入	1,767,750	1,465,874
その他	10,370	13,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,078	32,466
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△612	△972
自己株式の取得による支出	△120	—
配当金の支払額	△168,170	△206,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368,902	△257,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,232	△107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	209,351	△127,352
現金及び現金同等物の期首残高	2,790,171	4,798,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,999,522	4,671,419

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	12,179,774	4,245,132	3,249,761	19,674,668	—	19,674,668
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	104,653	44,886	17,358	166,898	△166,898	—
計	12,284,428	4,290,018	3,267,119	19,841,566	△166,898	19,674,668
セグメント利益又は損失(△)	863,142	251,393	50,658	1,165,194	△13,705	1,151,488

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,705千円には、のれんの償却額△30,616千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	13,075,411	5,064,096	3,998,671	22,138,179	—	22,138,179
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	155,204	39,652	26,852	221,709	△221,709	—
計	13,230,616	5,103,748	4,025,523	22,359,889	△221,709	22,138,179
セグメント利益又は損失(△)	930,349	432,915	129,431	1,492,696	△26,633	1,466,062

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△26,633千円には、のれんの償却額△30,616千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。